

支

（ どうしました ）

歩けないほど股関節が痛む

56歳女性。3年前から右の股関節が痛みます。年に1〜2回は歩けないほどの痛みです。乳児の頃、股関節脱臼をしたと母から聞きました。人工関節を入れる手術もあるようですが、どんなものでしょうか。どうしたら、痛みを和らげることができるとでしょうか。
(神奈川県・F)

Q どんな病気ですか。

A 股関節でクッションの役割を果たしている軟骨が、すり減って痛みが出る病気で

す。症状が進むと、歩けなくなり、横になっている時も痛みが続きます。初めは自覚症

状が乏しく、重症になってから、病院にかかる人が多い傾向があります。

Q 原因は。

A 加齢によって関節の軟骨へ負荷がかかることが大きな原因です。相談者のよう

答える人



すぎもと 杉本 和隆さん

苑田会人工関節センター病院長(整形外科)
東京都足立区

に、臼蓋形成不全という股関節が脱臼する先天性の原因があると、加齢とともに、軟骨の一部が圧迫されて股関節近くの骨などが傷付き、この病気になることがあります。

Q 治療法は。

A 骨盤の筋肉を鍛えるリハビリが有効です。脚の長さの違いから痛みが出ていれば、靴の中敷きで脚の長さの

違いを調節する方法もあります。ただ、根本的な治療法は手術です。若ければ、骨盤や大腿骨の一部を形成する「骨切り術」があります。加齢などで骨が変形し軟骨がすり減ってしまっている場合は、人工関節の手術を検討します。

Q 入院が必要ですか。

A 従来、1〜2カ月の入院が一般的でした。最近、皮膚を小さく切開する手術法を取り入れている施設もあります。「最小侵襲手術」(MIS法)といい、手術の翌日から歩行が可能で、2〜3週間で退院できます。公的医療保険ならびに高額療養費制度が使える、70歳以上の自己負担額は4万円ほどです。

乳がん治療で乳房を切除した後に、胸の膨らみを取り戻す「乳房再建」。自分のおなかや背中中の脂肪を移植する方法と、シリコン製の人工乳房を入れる方法がある。今月から、人工乳房を使う方法も、一部で公的医療保険が使えるようになった。

と同時に、胸の皮膚や筋肉を伸ばすために、右胸に「組織拡張器」という器具を入れた。シリコン製の風船で中に生理食塩水を入

「自家」は、自然な仕上がりになり、体にもよくなじむ傾向がある。ただし体への負担が大きく、入院期間が2日程度入院で済み、乳がんの手術でできる傷しか残らない。これまで約100万円かかっていた自己負